

# JESCO 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.219)

## 1. 豊田PCB廃棄物処理施設 春期定期点検を実施

豊田PCB廃棄物処理施設では、6月6日(月)から6月25日(土)まで、20日間をかけて春期定期点検を行いました。

### ●災害防止協議会の開催

この定期点検に先立ち、5月30日(月)に作業を行う協力業者の現場監督者等を集めた「災害防止協議会」を開催しました。

この協議会は、定期点検中に行われる様々な作業で漏洩トラブルや労働災害を発生させないことを目的に開催しています。

PCB廃棄物処理施設特有の作業ルールを守ることや、当事業所や他の事業所で過去に発生したトラブルと同じようなことを発生させないための対策など、今回の定期点検でも皆様に安心して見守って頂ける作業を行うことを周知しました。

なお、新型コロナウイルス感染症予防のため、換気や手指の消毒を徹底し、写真のように席も一つ置きにするなど、3密を防ぐ形式で開催しました。



### ●定期点検中の安全パトロールの実施

定期点検期間中は、施設内の安全を確認するための安全パトロールを週1回実施しました。

この期間は、普段の作業では行わない点検や工事を行います。

JESCO、運転会社、工事会社の3者でパトロールを行い、災害防止協議会で説明したルールが守られているか、高い場所での作業で正しい保護具が使われているかなどの労働災害の防止が図られているかを確認しました。

この際にもパトロールを行う人数を限定して、3密にならないように細心の注意を払いました。

また、安全対策や整理整頓での良い事例は、安全掲示板に写真付きで掲示しました。これを見た他の作業者が同じようにすることで安全作業の改善の役に立てるようにしました。



## ●実施作業の一例

### ◆地下タンク点検

PCB廃棄物の処理に必要な溶剤や油などは、屋外に設置した地下タンクで貯蔵しています。地下にあるタンクの健全性は、目視による外観点検で確認することができません。

このため、法令基準に定める加圧や減圧による漏洩検査の計測器を用いて、定期的に地下タンクの健全性を確認し、その機能を維持管理しています。



### ◆熱媒循環ポンプ冷却水熱交換器交換

熱媒循環ポンプは、蒸留塔などの熱源である熱媒油をボイラから各設備に供給する設備で、高温の液体が常に循環します。このポンプを高熱から守るため、冷却水熱交換器が装備されています。

冷却水をポンプの周りに循環させて冷やしていますが、冷却水熱交換器自体も冷却水による腐食等の進行が考えられます。そこで、操業に必須の熱媒ボイラシステムの健全性を保つため、予防保全として冷却水熱交換器の交換を行いました。

### ◆換気空調設備点検・整備

処理棟内の作業環境維持のため、給排気ファンや空調機などの換気空調設備が備えられています。これらの機器は24時間稼働しているため、定期点検時に設備を停止し、異常がないか確認します。そして、Vベルトやプーリー、軸受などの摩耗部品を交換して、健全性の維持を図ります。

この換気空調設備はPCB廃棄物処理が完了した後も、処理設備を解体するまでは必要な設備です。今後も定期的に点検整備を実施し、健全性を維持していきます。



デジ丸

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話：0565-25-3110 FAX：0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <https://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>

問い合わせ先

アザラシのびーちゃん

